

2023年11月10日

インパクトホールディングス株式会社

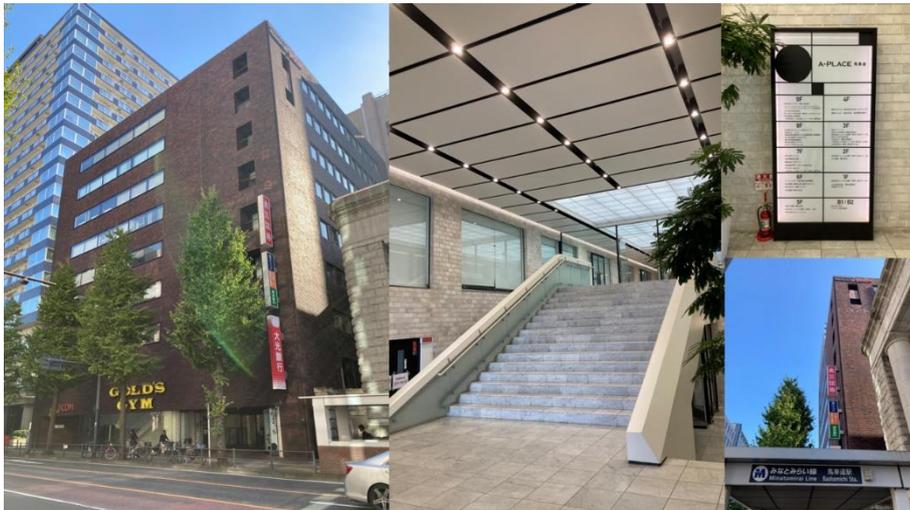
impact・e、「テクニカルサポートセンター」を「横浜事業所」に移転・集約のお知らせ  
～拠点集約による一歩進んだIoTソリューションの提供へ～

インパクトホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福井 康夫）の完全子会社で、外食向けセルフオーダーシステムを中心にICT及びIoT製品・関連サービスの提供を行なっている株式会社 impact・e（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：川村 雄二、以下「当社」）は、更なる機能強化とコミュニケーションの効率化に伴い、2023年11月12日（日）に「テクニカルサポートセンター」を「横浜事業所」に移転・集約します。

◆ 移転・集約の背景

当社は外食業向けセルフオーダーシステム及び周辺機器の企画、製造、販売、またITシステムの企画、運用、保守を主事業としています。タッチパネル式セルフオーダーシステムである「メニューくん」は、これまで全国10万台超の導入実績があり、保守サービスとして自社スタッフによる24時間、365日対応の「テクニカルサポートセンター」を擁しています。

営業、開発の拠点である「横浜事業所」に「テクニカルサポートセンター」を集約することで、分散していた部門間のコミュニケーションの活性化、業務効率化、ナレッジシェアをはかり、現在のサービスから一歩進んだIoTソリューションを皆様に提供できるよう推し進めてまいります。



◆ impact・e テクニカルサポートセンター 住所

【移転先】 〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町4丁目43番地 A-PLACE 馬車道 7F（旧：セボン関内第2ビル）

【移転元】 〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-84-2 大樹生命横浜桜木町ビル1F（旧：三井生命横浜桜木町ビル）

◆ 今後の展望

当社グループは、外食DXに留まらず、「販促の効率化」「ムダの削減」による販促の全体最適を行い、できる限り環境負荷を減らしながら事業活動を継続できる仕組みへと見直し、店頭での販促活動をよりサステイナブルなものに変えていきます。また、今後も世の中のニーズに合わせた販促ソリューションの開発・提供を行い、流通小売業界、販促プロモーション業界に新しい風を吹き込み続けられる企業を目指します。

※ メーカーや流通小売の販促ご担当者様で、サステイナブルな取り組みをご検討されている方やSDGs販促にご関心のある方、販促プロモーションに課題がある方は、ぜひ下記フォームよりお問い合わせください。

URL：<https://impact-h.jp/contact/corporation/>

## ◆ ESG 経営、SDGs への取り組み

---

当社は IoT/ICT テクノロジーで DX、スマートシティのインフラを支え、社会、環境に impact を与える『impact e』というコンセプトのもと、「economic society (経済社会)」「electronics device (電子機器)」「environment (環境)」3領域をプラットフォームと定義づけるとともに、ESG 経営に取り組み、各領域における事業活動を通じて社会課題の解決を目指し、SDGs 達成にも貢献してまいります。

## ◆ 株式会社 impact・e 会社概要

---

社 名：株式会社 impact・e (インパクトホールディングス株式会社 完全子会社)

代 表 者：代表取締役社長 川村 雄二

創 業：1991年2月

資 本 金：10百万円 ※2023年4月末時点

本 社 所 在 地：東京都渋谷区渋谷2丁目12-19 東建インターナショナルビル8F

事 業 内 容：外食向けセルフオーダーシステムを中心とした ICT 及び IoT 製品・関連サービス

W e b U R L：<https://impacte.co.jp/>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社 impact・e 営業部 (インパクトホールディングス株式会社 完全子会社)

TEL:045-277-2668 / E-mail:eigyoun@impacte.co.jp